

今月の  
テーマ

源泉徴収票を読む(用語解説)

Vol. 198  
知恵袋

生活

生活に  
何かと役立つ  
連載コラム

つぶやきがんちゃん

今月も  
つぶやき  
ます!

つぶやき  
がんちゃん



齋藤 廣勝  
(さいとう ひろかつ)  
株式会社トータルライフサポート  
代表取締役

- ・CFP®サーティファイドファイナンシャルプランナー
- ・1級ファイナンシャルプランニング技能士
- ・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
- ・住宅ローンアドバイザー

前号ではぐちゃぐちゃと様々な言葉も登場し、消化不良を起こしているのではと心配していたが、皆さん如何だっただろうか…。出来るだけ分かりやすく書いているつもりではあるが、誌面上だけでの説明は私自身も説明しきれているかどうか消化不良気味になってしまう。一番いいのは、これをテーマに勉強会を開催して説明をさせていただくのがベストだと思うのだが…。皆さんの中で企画さえしていたければ、講師として喜んで馳せ参じるのだが…。誰か呼んでください。

それはそれとして、今月号では所得税の決定までのプロセスを図式化して説明することにする。前号の言葉の解説と併せて見ていただければ、ガッテンがいくはずだ。しかし、仕組み的なものが理解できたとしてもそこがゴールではない。これらの仕組みが理解できれば、自分の支払う税金が多いたまは少なくて済む理由が見えてくる。そこが見えてくれば、しかるべき知識を持って利用できる所得控除などを効果的に利用し、賢く節税し、賢く貯めることにもつながっていくこと請け合いだ。自

身の所得税率が何パーセントか? 知ること自体が目的ではないが、知らなければその先の景色は見えてこない。それどころか、今立っている自分の足元さえ見えないこともある。もしかしたら危険な場所に立っているかもしれない…。近年、聞くことが多くなった言葉「金融リテラシー」を今一度考えてみよう。未だに、その言葉の意味すら知らない方も少なくないので、ここで改めて触れてみることにするが、一言でいえば「経済的に自立し、より良い生活を送るために必要なお金に関する知識や判断力」ということになる。経済的に自立するということは「自ら考え、判断し、行動する」力とも言い換えられる。毎日のように詐欺などによる被害が発生し、財産の全てを失ってしまうようなケースさえある。これらの被害にあわないためには何が大切かを考えると、一概には言えないものの、「金融リテラシー」が高ければその多くは防げたようにも思う。今回は源泉徴収票の解説ではあるが、「金融リテラシー講座」の一つであり、よりよい生活を送るためにも重要な知識の一つなのである。

伝えたと伝わったの違い

言葉って、つくづく難しい! 文章の中で使った文字は、良かれと思って使った言葉なのに、書いた人の想いがなかなか伝わり切れないこともある。「伝えた」つもりで書いた文章は、必ずしも「伝わった」とは限らない。私の手から離れた時点で、もはや私のものではなく、それを見た人のものであり、見た人が感じたようにしか伝わらないのである。伝わるどころか、時として大きな誤解や怒りさえ生むことがあるだけに、十分な注意を払いたいものである。しかし、どんなに丁寧に書いたとしても、文章・文脈の一部だけを切り取られると違った解釈になりかねないから、ある意味恐ろしい。文章は書いた人の表情は勿論伝わらないし、「こういう風に受け止めてほしい」という想いや感情はもつと伝わらない。ここまで文章で解説してきたが、今月はここまでの事を図示し、視覚的に捉えてもらうことでガッテンしてもらおうという魂胆だ。例によって前置きと、たらたらと講釈を垂れてしまったが、デジタル社会の中にあつては、メールやLINEでのやり取りにも気を使う必要がある。

二目瞭然?

さて、本題に入るとしよう。この先に、図示するのは

- ① 収入(会社などが支払った合計金額)
  - ② 給与所得控除(給料をもらっている人に認められる「必要経費」)
  - ③ 給与所得控除後の金額(収入-給与所得控除)
  - ④ 所得控除の額の合計額(人的控除(扶養控除等)、社会保険料、生命保険料など)
  - ⑤ 課税所得(所得税の計算の元となる金額)
  - ⑥ 源泉徴収税額(所得税)
- ①~⑥までの流れを図示すると次のようになる。これまで長々と文章にて説明したことが、次の図を見れば

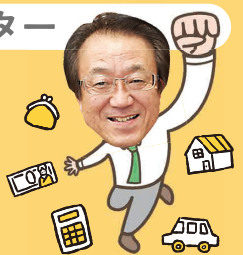
保険と暮らしの相談センター

家計の見直ししませんか?

近頃の物価高で様々なものの値段があがっている今こそ、家計を「総点検」してみませんか?  
弊社では家計収支の点検・見直しアドバイス~収支計画(キャッシュフロー表)の作成までお手伝いしております。まずはお気軽にご相談を!

お気軽にご相談ください。

株式会社  
TCS total life support 募集代理店 トータルライフサポート  
〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22  
● 営業時間 / 9:30~18:00(土・日・祝日は9:30~17:00)  
● 定休日 / 水曜日  
TEL 018-827-7611 詳細はホームページでもご覧いただけます。  
FAX 018-827-7610  
URL https://tls-akita.co.jp



一目瞭然だ。だったら「最初から出せよ」と思われる方もいると思うが、そうはいかない。図というものは、視覚的に仕組み、体系を理解してもらったものなので、それだけで詳細の理解には至らない。その両方があるからガッツンということになる。改めて、図を説明すると4つのブロックに分かれているが、左から順番に見てみよう。図①の収入は会社などが支払った金額そのもの。図②の「給与所得控除」は、①の金額を基に一定のルールでサラリーマンの経費的なものとして、計算上で差し引くもので手取りが減るものではない。図③は①から②を引いたものが、給与所得控除後の金額となる。図④は図③からその横にある様々な控除を合計したものであるが、この金額に関しては社会保険料の他、家族構成や加入する生命保険料によってその合計額は異なり、年末調整によって還付される金額の大小は大きく異なるだけに、節税にも大きな影響をもたらす。図⑤は③から④を引いたもので、所得税の基となる課税所得が決定する。図⑥は一連の控除を経て決定した⑤の課税所得を元に計算された源泉所得税となる。こうやって、左から順番に見ていけば最後の⑥源泉所得税までのプロセスは分かっていただけのことと思う。しかし、⑤の課税所得からの計算がどうなっているかを次で見てみよう。

### 源泉所得税の計算手順

最終的な所得税の計算は⑤の課税所得を基に計算するが、その課税所得によって税率は「図表2」のように7段階に区分されており、課税所得の該当する箇所を見ると、自身の所得税率が分かる。せめて、自分の収入に対する所得税率は覚えておいて欲しいものだ。さて、また図を見ていただいでサンプルの金額を元に計算してみよう。⑤課税所得の2,260,000円は

税率表の上から2番目の「1,950,000円〜3,299,000円」に位置しており、税率は10%であることが見てとれる。あとはルールに従って計算するだけで次のように計算される。源泉所得税 = 2,260,000円 × 10% = 226,000円

つまり、これが年末調整によって確定した源泉所得税だ。そして、この確定した源泉所得税と毎月天引きされていた金額を差し引く、払いすぎた額は年末調整金額は還付されるし、足りなければ不足分が徴収される。多くの場合は、生命保険料控除、地震保険料控

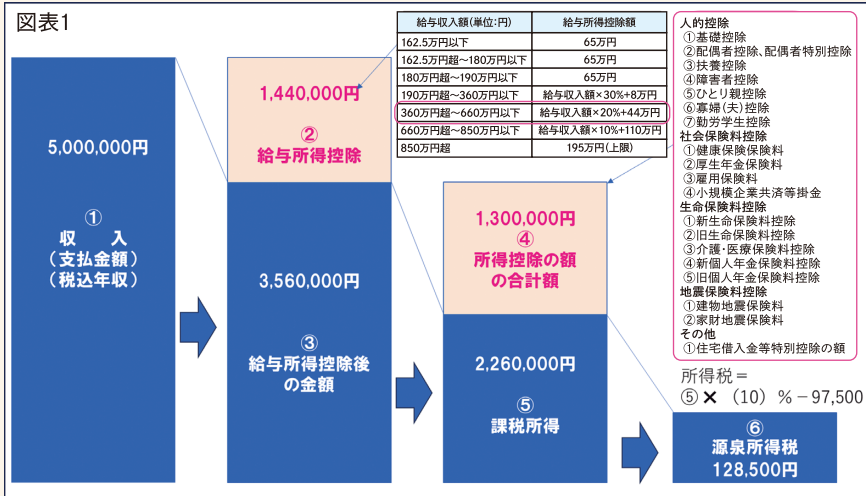
除、住宅ローン控除、小規模企業共済・iDeCo等控除などがあるため、税金は還付されることの方が多い。一方、次のような場合は追加徴収となる。

- ① 扶養控除の親族が年の途中で減った場合
- ② 給与やボーナスが年の途中で増えた場合
- ③ その他、保険料控除やiDeCoの掛金の減額が

問題はここから先……!

所得税率が5%〜45%まで7段階に分かれていることが理解出来て、自

図表1



図表2

課税される所得金額	税率	控除額
1,000円 から 1,949,000円まで	5%	0円
1,950,000円 から 3,299,000円まで	10%	97,500円
3,300,000円 から 6,949,000円まで	20%	427,500円
6,950,000円 から 8,999,000円まで	23%	636,000円
9,000,000円 から 17,999,000円まで	33%	1,536,000円
18,000,000円 から 39,999,000円まで	40%	2,796,000円
40,000,000円 以上	45%	4,796,000円

分の所得税率が何処に位置するかが分かったと思う。しかし、源泉徴収票には出てこないが、この他に住民税も負担している。税率は、所得税のように所得に合わせて段階的に上がるわけではなく、10% (市民税6%・県民税4%) で一律の課税だ。さて、問題はここからで、生活知恵袋の真骨頂はここから

次号は

多くの人は自身の所得税率を知らない。ならば実際例を用いた所得税の仕組みを考察することにする。